

建屋滞留水とタンク貯留水との比較

平成28年8月18日

原子力規制庁

	滞留/貯留量 (m ³)		濃度 (Bq/L)		量 (Bq)	
			Cs-137	Sr-90	Cs-137	Sr-90
1~4号機建屋	~63,500	10 ⁵	10 ⁷	10 ⁶	10 ¹⁵	10 ¹⁴
プロセス主建屋	~15,600					
HTI建屋	~4,400					
タンク貯留水 (RO濃縮水 + Sr処理水 + ALPS処理水)					10 ^{9~11}	10 ^{13~15}
RO濃縮水	~4,600	10 ^{3~4}	10 ^{3~4}	10 ^{7~8}	10 ^{9~11}	10 ^{13~15}
Sr処理水	~161,000	10 ⁵	10 ^{1~3}	10 ^{4~6}	10 ^{9~11}	10 ^{12~14}
ALPS処理水	~612,800	10 ^{5~6}	10 ^{-1~2}	10 ^{-1~3}	10 ^{7~11}	10 ^{7~12}
告示濃度			90	30		

建屋にはタンクに比べて

1万倍から100万倍のCs-137

1/10から10倍のSr-90